

1 設置目的

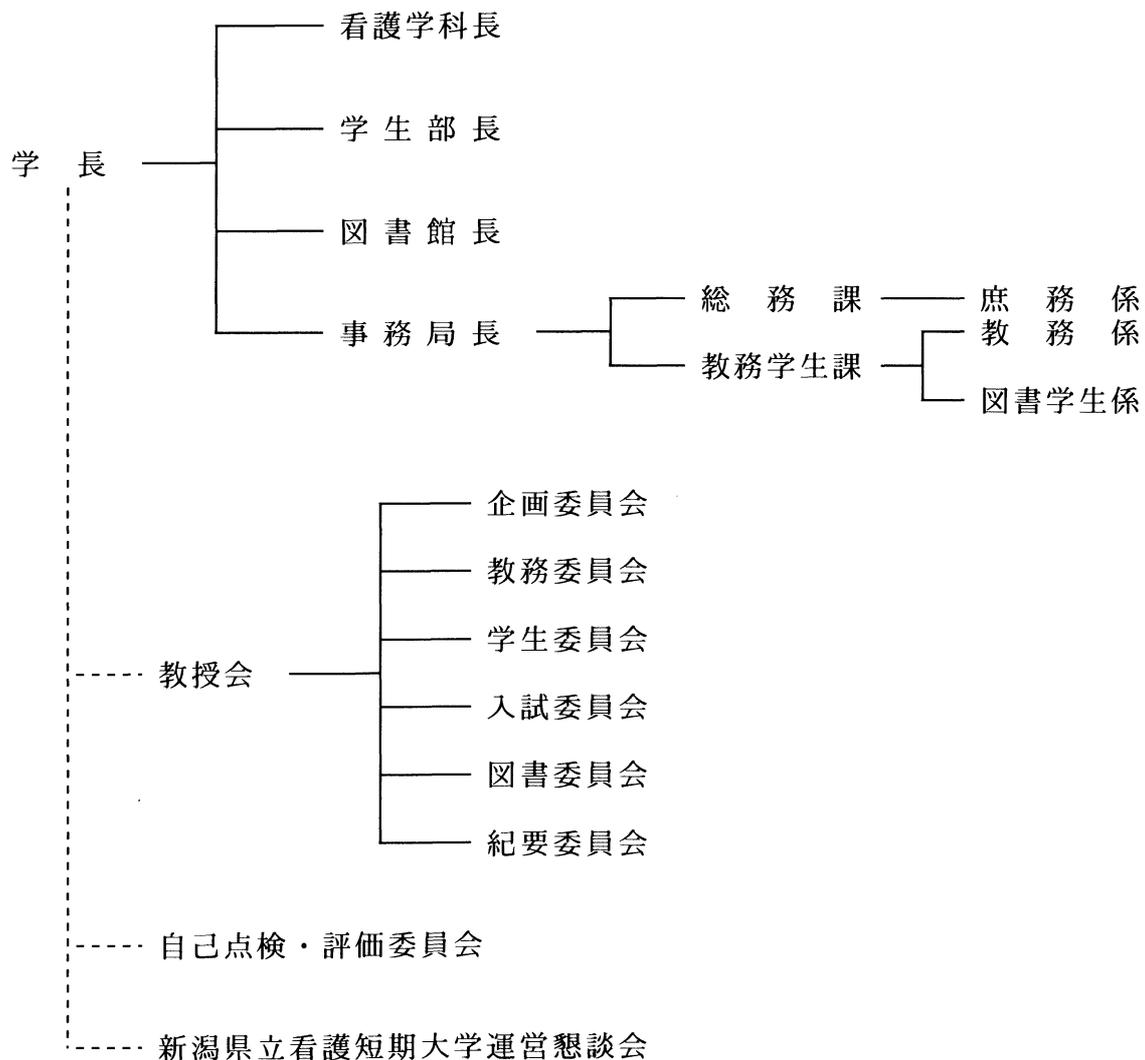
本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 沿革

- 平成2年6月・「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見
- 12月・「看護職員確保対策協議会」養成力強化のため、県立短大設置要望「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置
- 平成3年3月・県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成
- 4月・県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置
- 5月・県立看護短期大学「上越市設置、平成6年4月開学」知事決定
- 7月・「県立看護短期大学設立準備委員会」発足
- 11月・「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成
- 平成4年4月・県立看護短期大学設立準備室組織強化・用地の買収開始
- 5月・基本・実施設計完了
- 10月・校舎建設工事着工
- 平成5年4月・県立看護短期大学設立準備室組織強化
 - ・短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
- 9月・看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出
- 12月・文部大臣より短期大学設置認可
- 平成6年1月・文部大臣より看護婦養成学校指定　・校舎建設工事完了
- 4月・新潟県立看護短期大学開学　・第1回入学式挙行
- 5月・開学記念式典挙行
- 平成7年3月・シンボルマーク制定
- 5月・第1回戴帽式挙行
- 平成8年3月・校歌制定
- 12月・専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）設置届受理
 - ・保健婦学校及び助産婦学校指定
- 平成9年3月・第1回看護学科生卒業式挙行
- 平成9年4月・専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）開設
- 平成10年3月・第2回看護学科生卒業式、第1回専攻科生修了式挙行

3 大学組織

(1) 大学運営機構



(2) 教職員の状況

① 教員、職員数 ア 専任教員

(平成10年3月現在)

担 当	学 長	教 授	助教授	講 師	助 手	計
基 礎 科 目		1 人	1 人	2 人		4 人
専 門 基 礎 科 目	1 人	2 人				3 人
専 門 科 目		6 人	2 人	14 人	12 人	34 人
計	1 人	9 人	3 人	16 人	12 人	41 人

イ 非常勤講師

(平成10年3月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 11人	・新潟大学 ・新潟大学医療短期大学部 ・上越教育大学 ・国立療養所犀潟病院 ・厚生連上越総合病院 ・市内開業医 ・県立病院、県福祉保健部、県保健所 ・その他
専 門 基 礎 科 目 42人	
専 門 科 目 3人	
計 56人	

ウ 事務局

(平成10年3月現在)

区 分	局 長	課 長	係 長	主 任	主 事	嘱 託 員 等	計
事 務 局	1人						1人
総 務 課		1人	1人	1人	2人	1人	6人
教 務 学 生 課		(1人)	2人	2人	1人 司 書 1人	3人	9人
計	1人	1人	3人	3人	4人	4人	16人

※ () は兼務、総務課係長は副参事

② 専任教員名簿

(平成10年3月現在)

職 名	氏 名	主 要 担 当 科 目
学 長	斎 藤 秀 晃	医 学 概 論 II 看 護 学 特 論
看 護 学 科 長	加 藤 光 寶	看 護 学 概 論 臨 床 看 護 総 論
教 授	村 山 ヒサエ	母 性 看 護 学 概 論 助 産 管 理 学
//	小 野 澤 康 子	成 人 看 護 学 概 論 成 人 保 健 学
//	田 中 キミ子	看 護 管 理 学 II 成 人 臨 床 看 護 学
//	川 崎 佳代子	助 産 学 概 論 地 域 母 子 保 健 学
//	杉 田 収	生 化 学 ・ 化 学 統 計 学
//	中 野 正 春	解 剖 生 理 学 III 病 態 学
//	佐 々 木 美佐子	地 域 看 護 学 地 域 看 護 学 概 論

職名	氏名	主要担当科目
教授	関谷伸一	生理解剖生理学
助教授	長野勝	精神臨床看護学 精神保健学
〃	水戸美津子	老人看護学概論 老人臨床看護学
〃	山本誠一	臨床心理理学 臨床心理学
講師	小林ミチ子	臨床看護総論I 成人臨床看護学
〃	金子史代	臨床看護総論III 成人臨床看護学
〃	秋山啓子	小児保健学 小児臨床看護学
〃	中村博生	英語 I・II・III
〃	山田洋子	臨床看護総論IV 成人臨床看護学
〃	水口陽子	基礎看護技術演習 基礎看護技術演習
〃	村山陵子	臨床助産学 助産診断技術学II・III
〃	小林美代子	母性臨床看護学 助産診断技術学IV
〃	矢坂陽子	地域看護技術論I 地域看護技術論演習
〃	小林恵子	地域看護技術論II 地域老年保健学
〃	島村澄江	基礎看護技術演習 基礎看護技術演習
〃	平澤則子	地域看護技術論III 地域成人保健学
〃	渡邊典子	母性保健学 分娩介助技術学
〃	飯吉令枝	地域看護学演習 地域看護技術論演習
〃	渡辺弘之	社会福祉原理解 社会福祉原理解
〃	安田かづ子	小児看護学概論 小児看護学実習
助手	渡邊繁子	基礎看護学実習
〃	山田正実	基礎看護学実習
〃	井口ひとみ	基礎看護学実習
〃	大久保明子	基礎看護学実習
〃	宮越幸代	基礎看護学実習

職名	氏名	主要担当科目
助手	西脇洋子	基礎看護学実習
〃	石澤信人	基礎看護学実習
〃	武田美津代	基礎看護学実習
〃	山際和子	基礎看護学実習
〃	井上正美	基礎看護学実習
〃	古川亮子	基礎看護学実習
〃	斎藤智子	基礎看護学実習

③ 非常勤講師名簿

(平成10年3月現在)

氏名	担当科目	所属等
太田昌秀	保健体育(実技)	上越教育大学 教授
神成嘉光	法学	上越教育大学 教授
前川幸雄	中国語Ⅰ・Ⅱ	上越教育大学 教授
砥堀雅信	保健体育(講義)	上越教育大学 教授
川島章弘	情報科学概論・演習	上越教育大学 教授
澁谷久	科学史	上越教育大学 教授
藤澤郁夫	哲学	上越教育大学 教授
若井彌一	教育学	上越教育大学 教授
山本保	機能集団の保健管理	上越教育大学 教授
三浦望慶	運動科学	上越教育大学 教授
西山保子	物理学	上越教育大学 教授
下西善三郎	文学	上越教育大学 教授
立屋敷かおる	栄養論	上越教育大学 助教授
安田尚	看護学特論Ⅳ	上越教育大学 助教授
大森康正	情報管理学	上越教育大学 講師

氏 名	担 当 科 目	所 属 等
光 永 伸一郎	栄養学	上越教育大学 助手
重 野 直 也	微生物学	新潟大学医療技術短期大学部 教授
横 山 和 彦	福祉行政論・保健医療経済論	新潟大学経済学部 教授
末 山 博 男	放射線医学	新潟大学医学部附属病院 講師
三 浦 まゆみ	母性の精神衛生	新潟大学保健管理センター 講師
林 茂 信	精神保健	国立療養所犀潟病院 院長
武 内 廣 盛	精神病態学	国立療養所犀潟病院 精神科医長
石 井 敏 弘	健康政策論	国立公衆衛生院 主任研究員
石 田 道 雄	遺伝学	厚生連上越総合病院 産婦人科医長
川 室 優	老年期病態学	高田西城病院 院長
吉 岡 光 明	病態学Ⅲ（内分泌）	吉岡内科クリニック
佐 藤 昭 雄	病態学Ⅳ（歯科）	佐藤歯科医院
石郷岡 泰	行動科学	特別養護老人ホーム国見苑 苑長
花 沢 成 一	母性の精神衛生	日本大学文理学部 教授
長 尾 悟	国際関係論	東洋学園大学人文学部 教授
中 島 大 住	文化人類学	
古 川 素 子	臨床栄養学	
村 川 英 三	看護学特論Ⅲ	県立中央病院 院長
峯 山 浩 忠	病態学Ⅱ（泌尿器）	県立中央病院 副院長
阿 部 惇	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 診療部長
土 田 正	病態学Ⅱ（脳神経）	県立中央病院 診療部長
小 林 理	病態学Ⅰ（呼吸器）	県立中央病院 内科部長
高 野 諭	病態学Ⅰ（循環器）	県立中央病院 内科部長
植 木 淳 一	病態学Ⅰ（消化器）	県立中央病院 内科医長
永 井 孝 一	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 内科部長

氏 名	担当科目	所 属 等
丸 山 雄一郎	病態学II（腎臓）	県立中央病院 内科部長
佐 藤 健比呂	病態学II（アレルギー・膠原病・感染症）	県立中央病院 内科医長
五十嵐 良 一	病態学II（皮膚科）	県立中央病院 皮膚科部長
太 田 昭 弘	病態学IV（眼科）	県立中央病院 眼科医長
丸 橋 敏 宏	生殖病態学	県立中央病院 産婦人科部長
浦 野 正 美	病態学IV（耳鼻咽喉科）	県立中央病院 耳鼻科医長
須 田 昌 司	小児期病態学	県立中央病院 小児科医長
丸 山 茂	助産診断技術学IV	県立中央病院 小児科医長
渡 辺 渡	地域母子保健学・乳幼児保健学	県立妙高病院 院長
山 口 正 俊	薬理学	県立柿崎病院 薬剤部長
稲 葉 博	保健行政論	新潟県福祉保健部 部長
千 村 浩	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 課長
松 井 一 光	保健統計学	新潟県福祉保健部健康対策課 参事
後 藤 雅 博	地域精神保健学	新潟県精神保健福祉センター 所長
上 村 桂	疫学・環境保健論	新潟県六日町保健所 所長
西 脇 京 子	公衆衛生学	新潟県糸魚川保健所 所長

④ 事務職員名簿

(平成10年3月現在)

配 置	職 名	氏 名
事 務 局	事 務 局 長	大 関 敏 夫
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	田 中 俊 雄
	副参事(庶務係長)	新 保 春 樹
	主 任	渡 辺 克 一
	主 事	本 間 徹
	//	中 村 美和子
	嘱 託 員	佐 藤 直 美
教 務 学 生 課	教 務 係 長	池 田 正 直
	主 任	鈴 木 登美子
	主 事	渡 部 靖 彦
	嘱 託 員	関 根 加代子
	図 書 学 生 係 長	中 島 恒 光
	主 任	樋 口 芳 子
	司 書	吉 原 貴 子
	嘱 託 員	高 寺 尚 武
	//	富 沢 宏

⑤ 教員の転入転出一覧表
(転入者)

職名	氏 名	前 所 属	年月日
教 授	伊 藤 セツ子	帝京平成短期大学	10.4.1
助 教 授	小 林 優 子	武蔵丘短期大学	//
//	秋 山 智 弥	東京大学医学部非常勤講師	//
助 手	和 田 佳 子	山梨医科大学	//
//	太 田 和 美	新潟労災病院	//

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
教授	村山ヒサエ	新潟県退職	10.3.31
//	川崎佳代子	//	//
助教授	水戸美津子	山梨県立看護大学	10.4.1
助手	渡邊繁子	新潟県立中央病院	//
//	井口ひとみ	国立千葉病院附属看護学校	//
//	武田美津代	埼玉県立衛生短期大学	//

⑥ 事務局職員の転入転出一覧表
(転入者)

職名	氏名	前所属	年月日
事務局長	田中宏樹	上越福祉センター	10.4.1
主任	高橋直子	上越教育事務所	//
主事	内山志織	医薬国保課	//
//	岡本剛	上越保健所	//

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
事務局長	大関敏夫	病院局次長	10.4.1
主任	鈴木登美子	妙高病院	//
//	渡辺克一	安塚土木事務所	//
主事	中村美和子	小千谷林業事務所	//

4 施設の概要

- ・施設面積 40,082 m²
- ・建物面積 鉄筋コンクリート造3階建

校舎棟	8,781 m ²
体育館棟	1,323 m ²
計	10,104 m ²

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室29、看護学実験室、会議室3、学生食堂
図書館棟	図書館（6万冊所蔵可能）、LL教室（ブース56台） 情報科学教室（パソコン52台）
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室4
体育館棟	体育館（講堂兼用）、サークル室5、心理相談室
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2面
駐車場	第1、第2駐車場（170台駐車可能）

5 予算の状況（9年度当初）

（単位：千円）

事業名	予算額	事業名	予算額	
教職員給与費	503,747	教育研究費	33,654	
維持管理費	53,717	非常勤講師報酬等	18,767	
運営費	運営費	40,016	公開講座事業費	118
	各種会議開催費	73	実習指導者養成委託費	670
	各種団体負担金	535	教員派遣事業費	1,177
事務費	入学試験費	5,115	共同研究事業費	3,800
	図書館費	9,853	臨床実習指導費	8,346
	設備充実費	12,362	学内ネットワーク構築費	10,797
		合計	702,747	

6 主要行事

(1) 学年暦

学 期	事 項	日 程
前 期	在校生ガイダンス	4月 3日 (木)
	在校生健康診断	4月 3日 (木)
	入 学 式	4月 4日 (金)
	前期授業開始	4月 7日 (月)
	入学生健康診断	4月 7日 (月)
	入学生ガイダンス	4月 8日 (火) ~ 4月 9日 (水)
	開学記念日	5月 8日 (木) 休 講
	戴 帽 式	5月12日 (月) 休 講
	夏季休業	7月11日 (金) ~ 8月31日 (日)
	公開講座	7月15日 (火) ~ 7月18日 (金)
	前期試験	9月17日 (水) ~ 9月29日 (月)
	補 講	9月30日 (火)
後 期	後期授業開始	10月 1日 (水)
	大 学 祭	11月21日 (金)
	冬季休業	12月21日 (日) ~ 1月10日 (土)
	後期試験	2月 9日 (月) ~ 2月19日 (木)
	補 講	2月20日 (金) ~ 3月20日 (金)
	卒 業 式	3月13日 (金)
	春季休業	3月21日 (土) ~ 3月31日 (月)

(2) 主要行事等の概要

① 入学式

本年4月に専攻科（地域看護学専攻、助産学専攻）の開設により、看護学科第4期生100人、専攻科第1期生60人を迎える入学式が、川村副知事を始め多くの来賓の出席をいただき、4月4日（金）午前10時30分から本学の体育館で挙行された。

② 戴帽式

5月12日（月）に、県立中央病院長ほか実習施設の方々を来賓に迎え、本学として第3回目の戴帽式が体育館で行われた。

3年生から戴帽生（2年生）1人1人にキャッピングが行われ、看護の灯を引き継いだキャンドルを胸にステージ前に並び、自分達で考えた「誓いの言葉」を全員で述べた後、加藤学科長の訓辞、斎藤学長の式辞や来賓の祝辞を受けた。

式終了後、体育館で教員や先輩を交えて祝賀会が行われ、看護学生としての節目を祝った。

〈誓いの言葉〉

私たちは、ここにお集まりの皆様の前に、
人間を身体的、精神的、社会に統合された存在として、幅広く理解し、
個人、家族、地域社会の人々のニーズを確実に受け止め、
冷静な判断力や優しさをもって援助するための、
基礎的能力を身につけることを誓います。

私たちは看護を学んでいく中で、
喜び、悲しみ、苦しみなど、様々な経験を重ねて、
自分を大きく成長させ、人々の多様な価値観を認識し、
専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた行動が出来るように、
能力を養います。

私たちは人々の健康問題を解決するため、
科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎力を養い、
21世紀の看護を担う者として、
本学の学生であることを誇りとして志を高く持ち、
力の限り質の高い看護をめざし学び続けます。

③ 運営懇談会

開学後4回目の運営懇談会が平成9年11月7日に行われ、本学側から大学の当面する課題として、1.自己点検評価の実施、2.看護学科カリキュラムの見直し、3.国家試験対策について、4.社会に開かれた大学づくり、5.就職・進路指導の充実、6.コンピュータネットワークシステムの有効活用について説明後に、ア.社会に根差した看護短大はどうあるべきか、イ.看護職員（保健婦・助産婦を含む）の現況と看護短大への要望について、ウ.医療の現場が求める看護職員について、エ.看護技術系の情報基地としての本学図書館の役割について、オ.インターネットの活用についてのテーマで意見交換を行った。

④ 卒業式・修了式

本年度は、看護学科第2期生96人と4月に開設し入学した専攻科第1期生59人（地域看護学専攻44人、助産学専攻15人）を送り出す卒業式及び修了式が本間出納長を始め、大日方県看護協会第1副会長、実習施設代表の深川厚生連上越総合病院長の祝辞や多くの来賓の出席をいただき、3月13日（金）午前10時から本校の体育館で厳粛な雰囲気の中で挙行された。

卒業生・修了生の将来を祝福するかのよう天候にも恵まれ、卒業生の面持ちも緊張の中にも希望に満ちていた。

7 教 育

(1) 教育目標とカリキュラムの概要

本学の教育は、生命への畏敬の念をもつことと人権尊重を基本理念とし、科学性・合理性と豊かな人間性及び柔軟な感性をもつ看護の専門家を育成することを目的とする。カリキュラムは広い視野と柔軟な感性で看護の対象に対応できる能力、進歩発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力及び看護学の発展や看護技術の向上に貢献できる研究能力の基礎を養い、更に保健・医療・福祉チームの一員として関連職種と連携し協調して看護の役割を果たす能力を育てることを目標とし構成されている。平成9年度からカリキュラム改正に伴う現カリキュラム改正のために、カリキュラム改正委員会を設立し、検討中である。

カリキュラムは大別すると基礎科目と専門基礎科目及び専門科目からなる。基礎科目及び専門基礎科目の多くは、1年次及び2年次で開講し、看護の対象となる人間を生物学的・心理学的・社会的側面から理解することと、専門科目につながる基礎的知識を教授する。

専門科目は、基礎看護学、成人看護学、老人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学ならびに地域看護学があり、それぞれの科目には臨床実習科目が加わっている。専門科目は3年間にわたって開講するが、1学年から2学年前期まで及び3学年後期は主に講義、演習で教授し、2学年後期から3学年前期では病院・施設・保健所・保育所・地域で臨床実習を行う。

また、情報処理技術の習得を図るため、コンピューター操作のオリエンテーションを入学時に行い各科目のレポート作成に活用し、更に統計学、情報科学概論及び演習、看護過程演習などの科目で積極的にコンピューターによる授業を展開する。

(2) 臨床実習教育について

臨床実習科目は、看護教育カリキュラムにおいて重要な科目であり、知識と実践を統合する科目である。臨床の場での体験学習によって科学的な思考や判断能力を養い、看護基礎技術を習得させ自主的・創造的な学習能力を啓発する。

また、臨床実習教育に際し、臨床実習プロジェクトで作成した実習要項により、実習指導方法を検討するとともに、実習施設との連絡調整および実習事例の検討会などを行った。

開学以来、臨床実習指導者講習会に実習施設より毎年研修生を派遣している。また実習施設の院内教育に、教員を派遣するなど努めている

8 学生に関する状況

(1) 在籍学生数（県内、県外別）

（平成10年3月現在）

① 看護学科

	県内	県外	合計
1年	74人	26人	100人
2年	75人	23人	98人
3年	77人	19人	96人
合計	226人	68人	294人

② 専攻科

	県内	県外	合計
地域看護学専攻	30人	15人	45人
助産学専攻	14人	1人	15人
合計	44人	16人	60人

(2) 入学試験の状況

① 看護学科一般試験（募集人員 70人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 8 年度	総 数	645	548	110	70(1)
	県 内	355	314	61	46(1)
	県 外	290	234	49	24
平成 9 年度	総 数	250	199	81	70(1)
	県 内	125	106	43	43
	県 外	125	93	38	27(1)
平成 10 年度	総 数	348	266	79	70(3)
	県 内	160	124	37	34
	県 外	188	142	42	36(3)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

② 看護学科推薦入試（募集人員 30人 県内高校の3年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
8 年度	99	97	30	30(1)
9 年度	89	89	30	30
10 年度	85	84	30	30(1)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

③ 専攻科地域看護学専攻一般試験 (募集人員 23人)

年 度		応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
平成 9 年 度	総 数	107	95	24	23
	県 内	49	49	10	11
	県 外	58	46	14	12
平成 10 年 度	総 数	148	126	24	23
	県 内	53	50	8	14
	県 外	95	76	16	9

④ 専攻科地域看護学専攻推薦入試 (募集人員 22人 県内のみ)

年 度	応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
9 年 度	47	47	22	22 (1)
10 年 度	46	45	22	22 (1)

【注】 上記表の () は男子を内数で示す。

⑤ 専攻科助産学専攻一般試験 (募集人員 8人)

年 度		応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
平成 9 年 度	総 数	37	32	8	8
	県 内	25	24	4	4
	県 外	12	8	4	4
平成 10 年 度	総 数	38	34	8	7
	県 内	19	18	5	5
	県 外	19	16	3	2

⑥ 専攻科助産学専攻推薦入試 (募集人員 7人 県内のみ)

年 度	応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
9 年 度	23	20	7	7
10 年 度	26	26	7	7

(3) 奨学金等の貸与の状況

(平成10年3月現在)

日 本 育 英 会		新潟県奨学金	新潟県看護職員修学資金	他 県	
一 種		県教育委員会 月額32,000円	県福祉保健部福祉保健課 特別 月額32,000円 一般 // 16,000円	富山県 山形県	
自宅生	自宅外生				
6人	60人	9人	4人	93人	10人

(4) 心理相談 (学生相談)

95年4月より、心理カウンセリングなど本学学生への心理的援助サービスを目的とした心理相談部門が、学生相談の一部門として組織された。それに伴い設置された「心理相談室(兼心理学準備室)」にて、心理相談担当教員(山本助教授)がカウンセリングや心理判定などの心理相談業務に当たり、97年度で3年目となった。97年度も前年同様、毎週月曜日(開室9:00~閉室17:00)の1日5回セッション(1セッション約50分)の予約制のもとで行なわれた。全学生の概ね5%にあたる学生(開室年度からの平均)が、青年期アイデンティティに関わる問題や対人的な悩み、不安、学習意欲減退などの心理相談で、本室を利用し効果をあげている。

9 図 書 館

(1) 概 要

① 図書館の各種方針

本学の図書館機能は、その教育活動方針にのっとり、1)学習支援、2)研究支援、3)地域の看護・福祉関係者への情報提供という3つの柱を基に構築されている。

第1の学習支援については、看護学関係の学習図書の充実を考え、次にその関連分野である医学、自然科学一般、統計学等に関する図書を整備してきた。また、豊かな人間性の涵養を目指して、文学など教養関連の書物、及び新聞と週刊・月刊の一般雑誌の導入を行った。これらの図書とは別に、ビデオ、LD、CD、カセットテープおよびCD-ROMなどマルチメディア製品の購入を図った。

第2の研究支援では、看護学の学術情報、特に文献情報サービスの充実を図った。平成9年度現在で、図書館全体では146種類の各種雑誌を所蔵しているが、そのうち看護系の雑誌は65種類を数えた。書誌情報誌としては、医学中央雑誌と日本看護関係文献集 International Nursing Index (INI)、Cumulative Index to Nursing & Allied Health Literature (CINAHL)及び Current Contents (Life Sciences)を備えた。また、オンライン文献検索については、平成9年の秋から専用回線によるインターネットの利用が可能となり、従来にも増して格段の効率化が図られた。

第3の地域の看護・福祉関係者への情報提供という、開かれた図書館を目指して

の活動は、従来の方針どおり、看護や福祉関係等の学外者の学習と研究支援を目的に、図書の閲覧と貸出を行った。平成9年度に新規登録をした学外者は120名であり、年々利用者が増加している。また、平成9年度は、新潟県公衆衛生看護学校の閉校に伴い、当該図書館所蔵雑誌と図書が多数管理移管され、蔵書冊数の増加と関連分野の内容がより充実した。

② 情報検索

図書、資料等の不足を補うため、次の機器・文献検索システム等を整備している。

- ・ 学術情報センターとのオンライン文献検索 (NACSIS-IR)
- ・ 県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・ 県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借
- ・ 医学中央雑誌CD-ROM版による検索
- ・ CURRENT CONTENTSフロッピーディスク版による最新文献検索

③ コンピュータシステムの活用

次の図書館業務の効率化を図るため、コンピュータを導入している。

- ・ 貸出原簿 ・ 利用者登録 ・ 蔵書管理 ・ 図書検索 ・ 原簿、目録の印刷
- ・ 統計処理 ・ 学内LANを利用したの文献コピーサービス受付

④ 開館延長時間の実施

昨年度に引き続き、下記のように開館時間を延長した。

月曜日から金曜日 (大学の休業日を除く) 9:00～19:30

土曜日 (祝祭日と大学の休業日を除く) 9:30～16:30

(2) 今後の整備方針

当館は看護の専門図書館として、単独でも看護学関連図書と専門学術雑誌の充実を図っていく事は言うまでもないが、これからは他大学の図書館との関係をより密接にしていく事によって、コンピュータネットワークによる充実を図りたい。幸い、平成9年度に学内LANの整備と専用回線による文部省の学術ネットワークSINETに加入することができたので、今後は、学術情報センターの目録所在情報サービスへの参加機関となるようにしたい。また、将来的には、マルチメディアの整備等を図り、さらに学内LANを用いて館外でも情報収集できるような電子図書館的機能の充実、利用者の増加と利用形態の多様化に対する対応策の整備等を進めていきたい。

10 教員の研究・研修活動

(1) 研究業績

①論文

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	雑誌名・巻(号)・頁	年	* 所属
骨粗鬆症の診断における骨量測定 Computed X-ray (CXD) 法と定量的 X 線 CT (QCT) 法の比較	*戸村成男 <u>田中キミ子</u> ほか	日本農村医学会雑誌 46(2), 142-147	1997	筑波大学社会医学系医科学研究科
高齢者における大腿部骨折手術後の歩行に及ぼす影響要因	<u>田中キミ子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 3, 49-57	1997	
新潟県内における婦長補佐業務の検討	<u>田中キミ子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 3, 59-66	1997	
日本の少子社会における reproductive・health/rights の課題(その1)～戦前戦後の人口政策の歴史を振り返る視点で～	<u>川崎佳代子</u> <u>渡邊典子</u> *渡部尚子	新潟県立看護短期大学紀要 3, 17-26	1997	埼玉県立看護短期大学
Effect of genetic variation on the fatty acid-binding properties of human serum albumin and proalbumin.	*H. Nielsen <u>O. Sugita et al.</u>	Biochim. Biophys. Acta 1342, 191-204	1997	University of Aarhus, Denmark
クメンヒドロペルオキシドを用いたヒト血漿抗酸化能の測定	<u>杉田 収</u> <u>中野正春</u> ほか	臨床病理 46, 271-276	1998	
Persistent primitive sciatic artery associated with other various anomalies of vessels.	<u>S. Sekiya</u> * M. Horiguchi et al.	Acta Anat.,158,143-149	1997	岩手医科大学

高齢者の性に関する研究(3) 一看護・介護職員の高齢者の性 に関する意識調査の分析一	<u>水戸美津子</u> <u>西脇洋子</u> <u>渡邊典子</u> <u>秋山啓子</u> <u>島村澄江</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 27-40	1997	
青年期の自己実現(個性化)志 向に関する不安(その3)一 生き方の個人志向性・社会志向性 との関連一	<u>山本誠一</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 83-89	1997	
青年期の自己実現(個性化)過 程における「個」の不安と社会 集団との関わり	<u>山本誠一</u> <u>中村博生</u> <u>渡辺弘之</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 91-99	1997	
Bed Making の動作解析にみる Body Mechanics の教育的課題	*村上生美 <u>金子史代</u> ほか	新潟大学医療技術短期大学 部紀要6(2), 187-195	1997	岡山県立大 学保健福祉 学部
在宅要介護者の社会的サポート の効果と QOL に関する研究一第 2 報一	<u>金子史代</u> <u>飯吉令枝</u> <u>桑野タイ子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>小野沢康子</u> <u>水戸美津子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 9-15	1997	
音変化の口頭練習が日本人 EFL 学習者の聴解力に及ぼす影響	<u>中村博生</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 75-81	1997	
映画英語学習による音変化の習 得が EFL 学習者の聴解力に及ぼ す影響	<u>中村博生</u>	映画英語教育学会紀要 映画英語教育研究 3, 39-48	1997	
「個」のパーソナリティと学習 集団の特性一集団維持機能を活 性化するパーソナリティ	<u>中村博生</u> <u>渡辺弘之</u> <u>山本誠一</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 67-73	1997	

分娩時呼吸法に関する実態調査	<u>村山陵子</u> <u>渡邊典子</u> <u>村山ヒサエ</u>	日本母性衛生学会学術雑誌 38(4), 336-342	1997	
妊婦が感じている不安・問題の内容と対処方法	<u>渡邊典子</u> <u>川崎佳代子</u> *1 佐藤明美 *2 早津喜美江 *3 上田智子	母性衛生 38(2), 182-192	1997	1.厚生連上越総合病院 2.新潟県立中央病院 3.上福岡総合病院
ベトナムにおける国際結婚の動向 (1)	<u>渡辺弘之</u>	明治学院大学社会学部附属 研究所研究所年報 28,61-72	1998	
自己カテゴリー化と宗教—主体なき「個」と集団の断層—	<u>渡辺弘之</u> <u>山本誠一</u> <u>中村博生</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 101-110	1997	
新潟県立看護短期大学における学外者のための図書館サービスに関する調査	<u>山田正実</u> <u>村山ヒサエ</u> <u>長野 勝</u> <u>水口陽子</u> <u>石沢信人</u> * 吉原貴子	新潟県立看護短期大学紀要 3, 41-47	1997	新潟県立看護短期大学 図書館
ワインと各種飲料物の抗酸化能	<u>石沢信人</u> <u>杉田収</u> <u>斎藤秀晁</u> <u>中野正春</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 3-8	1997	

②著書

(本学教員は下線表示)

書名	監修・編集・著者名	分担執筆の題名	出版社・分担執筆頁	地名	年
糖尿病(3)	小坂樹徳、 <u>杉田 収</u> 、ほか著	N-アセチル-β-D-グルコサミニダーゼ	日本臨床社・307-312	大阪	1998

精神障害者のク リニカルケア	川野雅資編著、 <u>長野勝</u> 、ほか著	精神障害者の症状の特 徴と看護の視点「自 傷」	メヂカルフレンド社 139-161	東京	1997
精神科看護	日本精神科看護技術 協会、 <u>長野勝</u> 、ほか 著	対人関係論 「精神科看護における 対人関係論」	日本精神科看護技術 協会 8-14	東京	1997
精神保健総論	小林芳郎編、 <u>山本誠 一</u> 、ほか著	5章 青年期の発達と 特質 II節 青年期の問 題と対応	保育出版社 63-70	大阪	1997
臨床心理学	小林芳郎編、 <u>山本誠 一</u> 、ほか著	18章 分析心理療法	保育出版社 133-140	大阪	1998
教育現場に根ざ した生徒指導	宮下一博、濱口桂和 編著、 <u>山本誠一</u> 、ほ か著	第5章 児童生徒の問 題行動と現代社会	北樹出版 52-66	東京	1998

③学会発表

(本学教員は下線表示)

演 題 名	氏 名	発 表 学 会 名	発 表 年 月 日	発 表 地
癌の告知を受けた患者と家族 に及ぼす心理的要因の検討	藤田京子 秋山由希子 <u>加藤光寶</u>	第 2 回緩和医療を考える 会	1997.9.6	上越市
心臓手術後の経時的心理変化 と社会要因との関連性の検討	石井由江 <u>加藤光寶</u>	第 3 回日本心臓リハビリテー ション学会	1997.9.6	東京都
全身麻酔下の手術患者の体温 低下に対する効果的な保温対 策	清水亜姫 藤木朋子 金沢由紀 星久子 弓削芳子 相沢恵美 <u>加藤光寶</u>	第 17 回関東甲信越地区看 護研究学会	1997.11.14	松本市

ACT 測定値の静脈シースからの 逆流量の検討	白坂友美 冠野浩美 田代千都子 服部萬里子 <u>加藤光寶</u>	第 17 回 CCU 研究会	1997.11.29	東京都
婦長補佐業務の検討—新潟県 内病院の実体調査—	滝川礼子 <u>田中キミ子</u> ほか	新潟県看護協会	1997.12.11	新潟市
新しい抗酸化能の測定法 (CHP/Hb・MB 法)の測定する 抗酸化物質	<u>杉田 収</u> <u>中野正春</u> ほか	第 44 回日本臨床病理学会	1997.10.30	神戸市
CHP/Hb・MB 法によるワイン とお茶の抗酸化能	<u>杉田 収</u> <u>石澤信人</u> ほか	第 37 回日本臨床化学会	1997.11.13	熊本市
Funicular plexus formation in the human sciatic nerve.	<u>S. Sekiya,</u> T. Ichinohe, M. Horiguchi	Fifth International Congress of Vertebrate Morphology	1997.7.16	英国 (ブ リストー ル)
老人に対する意識と関心へ影 響する要因に関する研究 —普通科・福祉科コースに学 ぶ高校生の検討から—	<u>水戸美津子</u> <u>西脇洋子</u> 田中睦子	第 39 回日本老年社会科学 会	1997.6.18	東京都
青年期の自己実現 (個性化) 志向に伴う不安—「見捨てら れ不安」・「呑み込まれ不安」 の視点からの検討—	<u>山本誠一</u>	日本心理臨床学会第 16 回 大会	1997.9.22	仙台市
透析患者のうつに及ぼす要 因の検討	斎藤志津子 <u>小林ミチ子</u> <u>加藤光寶</u> ほか	第 42 回日本透析医学会	1997.7.20	札幌市

在宅要介護者の介護における社会的サポートの効果に関する研究	<u>金子史代</u> <u>飯吉令枝</u> <u>桑野タイ子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>小野沢康子</u> <u>水戸美津子</u>	第 28 回日本看護学会 (地域看護)	1997.10.16	宮崎市
音変化の口頭練習が日本人 EFL 学習者の聴解力に及ぼす影響	<u>中村博生</u>	語学ラボラトリー学会 (LLA)関東支部平成 9 年度 第 2 回会津若松研究大会	1997.10.25	会津若松市
産褥期の尿失禁に関する調査 <第 1 報> -尿失禁の要因と 妊娠中・産褥早期の実態調査 -	<u>村山陵子</u> <u>山田正実</u> <u>井口ひとみ</u> ほか	第 38 回日本母性衛生学会	1997.10.17	鹿児島市
少産時代における里帰り分娩 の実態調査—新潟県の現状—	<u>小林美代子</u> <u>村山ヒサエ</u> <u>村山陵子</u> <u>渡辺典子</u> ほか	第 38 回日本母性衛生学会	1997.10.17	鹿児島市
県内における少産時代の里帰 り分娩の実態	<u>小林二二枝</u> <u>小林美代子</u> <u>村山ヒサエ</u> <u>村山陵子</u> <u>渡邊典子</u> ほか	第 24 回新潟母性衛生学会	1997.11.8	新潟市
「こちよさ」という指標を 用いた健康学習 1～保健行動 に伴う快の報酬に着目して～ (第 1 報)	<u>馬場亜希子</u> <u>小林 恵子</u> ほか	第 56 回日本公衆衛生学会	1997.10.17	横浜市
「こちよさ」という指標を 用いた健康学習 2～保健行動 に伴う快の報酬に着目して～ (第 2 報)	<u>本田砂智子</u> <u>小林恵子</u> ほか	第 56 回日本公衆衛生学会	1997.10.17	横浜市

管内特定疾患患者の就労に関する実態調査(第1報)	伊藤恵理子 稲田美恵子 <u>平澤則子</u> ほか	第2回難病看護学会	1997.8.29	新潟市
県内の医療施設,市町村・保健所,訪問看護ステーションの継続看護機能の実態—継続看護機能評価より—	前沢恵美子 松田玲子 <u>平澤則子</u> ほか	第28回日本看護学会 (地域看護)	1997.10.16	宮崎市
産褥期の尿失禁に関する調査<第2報>—産後の体調・家事労働量・尿失禁の実態調査と骨盤底筋体操の実施状況—	<u>井口ひとみ</u> <u>山田正美</u> <u>村山陵子</u> ほか	第24回新潟母性衛生学会	1997.11.8	新潟市
看護学生における夫立ち会い分娩の意識調査	<u>井上正美</u> <u>古川亮子</u> <u>村山ヒサエ</u> 高橋初美	第24回新潟母性衛生学会	1997.11.8	新潟市
看護学生における夫立ち会い分娩の意識調査	<u>古川亮子</u> <u>井上正美</u> <u>村山ヒサエ</u> 高橋初美	第38回日本母性衛生学会	1997.10.17	鹿児島市

④総説

題 名	氏 名	雑誌名・巻(号)・頁	年
勤務表作りの達人を目指して	加藤光寶	ナーシングトゥデイ 12(6), 79-81	1997
危険な患者移動	加藤光寶	ナーシングトゥデイ 12(11), 24-25	1997
技術に優れた学生を育成するために—看護基礎教育における実習	加藤光寶	看護教育 38(11), 914-927	1997
ナースはいつ腰痛になるかわからない :腰痛の起こるメカニズムから	加藤光寶	エキスパートナース 13(12), 28-32	1997

腰痛を防いで患者を移送する方法	加藤光寶	エキスパートナーズ 13(12), 34-39	1997
看護アセスメントの実際 —症例別アセスメント；瘦せ—	小野澤康子	臨床看護 23(10), 1542-1547	1997
抗酸化能の測定	杉田 収	医学のあゆみ 181, 524-526	1997
ALP の JSCC 法における肝疾患と小腸性 ALP(ALP-5)との関係	杉田 収	検査と技術 25, 885-887	1997
新しい抗酸化能の測定法	杉田 収	新潟県臨床衛生検査技師会誌 37(5), 203-208	1997
動脈硬化症の評価—診断法の新たな展 開—	杉田 収	Medical Technology 26, 190-191	1998
基礎看護技術の学内演習の実際	金子史代 水口陽子 島村澄江 桑野タイ子	看護教育 39(3), 238-243	1998
基礎看護技術 ギプス固定	島村澄江	看護学生 45(10), 22-27	1997
基礎看護技術 牽引法	島村澄江	看護学生 45(12), 22-27	1998
基礎看護技術 留置カテーテル	渡邊典子	看護学生 45(11), 22-27	1998
基礎看護技術 食事の援助	渡邊繁子	看護学生 45(2), 22-27	1997
基礎看護技術 排便の援助	渡邊繁子	看護学生 45(3), 22-27	1997
基礎看護技術 経管栄養	井口ひとみ	看護学生 45(4), 22-27	1997
基礎看護技術 与薬	大久保明子	看護学生 45(5), 22-27	1997
基礎看護技術 注射	大久保明子	看護学生 45(6), 22-27	1997
基礎看護技術 吸引・吸入	西脇洋子	看護学生 45(7), 22-27	1997

基礎看護技術 罨法	西脇洋子	看護学生 45(9), 22-27	1997
基礎看護技術 清潔の援助	武田美津代	看護学生 45(1), 22-27	1997
基礎看護技術 ドレーン管理	武田美津代	看護学生 45(13), 22-27	1998

(2) その他報告・随想など

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	掲 載 雑 誌 名 ・ そ の 他	年
対談：今年の看護婦国家試験はちよつとおかしい	<u>加藤光寶</u>	看護教育 38(7),	1997
書評：ベジタブル	<u>加藤光寶</u>	看護教育 38(12),	1997
書評：心に響く看護の「誇り」	<u>加藤光寶</u>	看護管理 7(10),	1997
職場だより—新潟県立看護短期大学—	<u>田中キミ子</u>	上越だより	1997
在宅要介護者の看護ニーズと在宅ケアサービスの効果に関する研究	<u>佐々木美佐子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>桑野タイ子</u> <u>小野沢康子</u> <u>水戸美津子</u> <u>金子史代</u>	平成7、8年度新潟県立看護短期大学共同研究報告書	1997
快適住まい環境研究会報告 第2報—バリアフリーモデルハウスと住宅改造例の検討から—	<u>水戸美津子</u> <u>関谷伸一</u> <u>西脇洋子</u> <u>山際和子</u> <u>杉田 収</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 111-117	1997
看護業務改善の方向性の検討	<u>水戸美津子</u> <u>室川直子</u> <u>樋木一枝</u> <u>佐藤志津子</u> <u>中澤美津子</u> <u>関典子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 119-126	1997

国家試験対策 呼吸器疾患と看護	<u>小林ミチ子</u>	クリニカルスタディ 19(4), 41-48	1998
看護教員が見たデンマーク	<u>水口陽子</u>	社会教育センター デンマーク高齢者福祉・医療視察報告書 1995~1997年, 40-42	1997
看護教育におけるインターネット活用への可能性の検討	<u>宮越幸代</u> <u>渡邊典子</u> <u>西脇洋子</u> <u>水戸美津子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 127-137	1997
1997 年度版看護婦(士) 国家試験問題解答・解説	<u>西脇洋子</u>	日本看護協会出版会 62-65, 82-83	1997
本学図書館の利用者への質問紙調査と今後の展望	<u>石沢信人</u> <u>村山ヒサエ</u> <u>山田正実</u> <u>長野 勝</u> <u>水口陽子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 3, 139-150	1997

(3) 講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
看護診断	加藤光寶	国立高田病院看護部 研修	1997.6.19	高田市
看護研究計画	加藤光寶	新潟県立村上病院看 護部研修	1997.6.28	村上市
事例検討	加藤光寶	新潟県福祉保健部実 習指導者養成講習会	1997.7.10, 10.11	新潟市
ヘンダーソン看護理論	加藤光寶	厚生連長岡中央病院 看護部研修	1997.7.17	新潟市
職業人としての意識を高めよう	加藤光寶	新潟県立吉田病院看 護部研修	1997.7.26	吉田市

看護研究	加藤光寶	新潟県立十日町病院 看護部研修	1997.6.25	十日町
看護理論 ヘンダーソンについて	加藤光寶	全国准看護婦教育 協議会新潟県支部	1997.8.23	六日町 市
看護理論	加藤光寶	新潟県福祉保健部実 習指導者養成講習会	1997.9.17	新潟市
ヘンダーソン	加藤光寶	新潟県福祉保健部実 習指導者養成講習会	1997.9.24	新潟市
看護研究のまとめ方	加藤光寶	県立十日町病院看護 部研修	1997.9.26	十日町 市
積極的傾聴法	加藤光寶	新潟南病院看護部研 修	1997.9.27	新潟市
臨床実習指導方法①～④	加藤光寶	新潟県福祉保健部実 習指導者養成講習会	1997.10.1, 10.2, 10.8 10.15	新潟市
看護理論 ロイ、オレムについて	加藤光寶	全国准看護婦教育協 議会新潟県支部	1997.10.25	新潟市
看護研究	加藤光寶	新潟県立十日町病院 看護部研修	1997.12.6	十日町 市
大関和のこと	加藤光寶	知命堂病院看護部研 修	1998.2.22	上越市
母子の健康管理	村山ヒサエ	平成9年度「すくす く子育てセミナー」	1997.7.17	上越市
オレム看護論	田中キミ子	新潟県福祉保健部実 習指導者養成講習会	1997.10.17	新潟市

助産婦教育過程	川崎佳代子	新潟県福祉保健部実 習指導者養成講習会	1997.9.12	新潟
女性の自立と育児	川崎佳代子	新潟県立津川病院看 護部自治会主催	1998.2.20	新潟
上越市の水道水—おいしい水とは—	杉田 収	上越市南四会	1997.5.17	上越市
図書館の公共性と役割分担	杉田 収	上越マルチメディア フェスティバル	1997.7.6	上越市
検査データの読み方	杉田 収	新潟県立中央病院腎 友会	1997.9.7	上越市
誰もが住みやすい街とは	杉田 収	新潟県障害者週間事 業	1997.10.25	糸魚川 市
これからの保健活動～教育現場からみ た保健婦の役割	佐々木美佐子	新潟県保健所保健婦 会総会	1997.5.17	新潟市
看護面接の技術—理論と実際—	佐々木美佐子	新潟県訪問看護婦養 成講習会	1997.7.31	新潟市
看護面接の技術—理論と実際—	佐々木美佐子	新潟県訪問看護婦養 成講習会	1997.8.2	新潟市
看護面接の技術—理論と実際—	佐々木美佐子	新潟県訪問看護婦養 成講習会	1997.8.5	長岡市
看護教育（保健婦教育課程）	佐々木美佐子	新潟県臨床指導者養 成講習会	1997.9.16	新潟市
実習指導の実際（在宅看護）	佐々木美佐子	新潟県臨床指導者養 成講習会	1997.10.29	新潟市
在宅ケア体制におけるこれからの看護 —訪問看護—	佐々木美佐子	新潟県看護協会糸魚 川地区協会研修会	1997.11.8	糸魚川 市

地域保健と学校保健の連携	佐々木美佐子	新潟大学教育学部特別別科養護教育実践研修	1998.1.9	新潟市
介護保険法について	佐々木美佐子	県立中央病院腎友会総会	1998.3.29	上越市
人間性豊かな看護について	長野 勝	新津医療センター病院看護部研修会	1998.3.7	新津市
精神科リーダーシップについて	長野 勝	日本精神科看護技術協会 新潟県支部研修会	1997.10.30 -10.31	津南町
臨床精神科看護評価と社会復帰への具体的な看護活動について(1)	長野 勝	新潟県立悠久荘看護研修会	1997.7.25	長岡市
臨床精神科看護評価と社会復帰への具体的な看護活動について(2)	長野 勝	新潟県立悠久荘看護研修会	1997.10.3	長岡市
実習指導の実際(精神)	長野 勝	新潟県福祉保健部実習指導者養成講習会	1997.9.26	新潟市
成人(精神)看護実習	長野 勝	新潟県福祉保健部実習指導者養成講習会	1997.10.20 -10.29	新潟市
看護を高めるチームワークについて	長野 勝	新潟県立津川病院看護研修会	1997.12.19	津川町
専門家としての看護について	長野 勝	新潟県立加茂総合病院看護研修会	1997.6.25	加茂市

思春期の心理・カウンセリング（事例 検討含む）等について	山本誠一	平成9年度新井市立 新井南中学校カウ ンセリング講習会全3 回（平成9年度新潟 県教育庁カウンセラ ー学校派遣事業）	1997.6.5, 10.2, 11.7	新井市
思春期の心理・カウンセリング（事例 検討含む）等について	山本誠一	平成9年度中郷村立 中郷中学校カウセ リング講習会全3回 （平成9年度新潟県 教育庁カウンセラー 学校派遣事業）	1997.7.18, 10.16, 11.21	中郷村
「青年の夢と不安を聴く」	山本誠一	新潟県上越労政事務 所主催 平成9年度 上越地区勤労青少年 福祉推進者連絡協議 会研修会	1997.7.11	上越市
心の発達とその問題	山本誠一	上越市働く婦人の家 主催保育サービス講 習会	1997.10.8	上越市
スクールカウンセリングを考えるー臨 床心理士としてー	山本誠一	日本学校教育相談学 会新潟支部主催平成 9年度秋季研修会講 演	1997.11.8	上越市
思春期の心理について	山本誠一	新井市立新井中学校 主催第2回保護者会 講演	1997.11.27	新井市
カウンセリングを通して考える「ここ ろ」の健康	山本誠一	六日町社会保険事務 所主催メンタルヘル スに関する研修会 （全2回）	1998.2.2, 2.9	上越市

県単事業派遣カウンセラーの経験から考えたこと	山本誠一	新潟県臨床心理士会 主催 第 10 回学校心理臨床研修会（上越地区）	1998.3.14	上越市
新潟県実習指導者養成講習会 成人看護実習（急性期）	小林ミチ子	新潟県福祉保健部実習指導者養成講習会	1997.10.14 -10.29	新潟市
新潟県実習指導者養成講習会 成人看護実習（慢性期）	金子史代	新潟県福祉保健部実習指導者養成講習会	1997.10.14 -10.29	新潟市
身体の発育と病気、安全・事故	秋山啓子	上越市働く婦人の家 主催保育サービス講習会	1977.10.14 , 10.21	上越市
食生活と健康	山田洋子	食生活から考える心とからだの健康講座	1997.10.13	上越市
看護研究のための研修会	村山陵子	新潟県立中央病院看護部研修会	1998.3.5, 3.12	上越市
保健婦にとって地区活動とは	矢坂陽子	平成 9 年度上越保健所管内市町村新採用保健婦研修会	1998.1.30	上越市
新潟県保健婦助産婦看護婦実習指導者養成講習会 在宅看護実習	小林恵子	新潟県保健福祉部実習指導者養成講習会	1997.10.14 -10.29	新潟市
ヘルスプロモーションと実践活動	平澤則子	十日町保健所管内保健婦業務研究会	1997.5.26	十日町市
ヘルスプロモーションの枠組みを用いた保健事業の評価	平澤則子	上越市役所保健福祉職員新人研修	1997.8.5	上越市

卵巣機能から女性の体調を見直してみませんか	安田かづ子	見附市立今町中学校 P T A 研修会	1997.11.6	見附市
60才からのパートナーとの関係を考え直してみませんか	安田かづ子	生涯学習講座寺子屋 学級健康セミナー	1997.12.17	牧村
母と子一緒に性教育 —自分の体と、可能性を考えてみよう	安田かづ子	上越市立春日小学校 4年生家族P T A	1998.2.5	上越市
骨盤底筋体操と更年期以降の女性の体調について	安田かづ子	農協婦人部総会研修 会	1998.2.8	越路町
骨盤底筋体操と女性の体調について	安田かづ子	柏崎保健所思秋期教 室	1998.2.21	柏崎市
卵巣機能と女性の体調について（思春期から考えよう女性の体）	安田かづ子	上越市養護教員研修	1998.2.27	上越市

(4) 学会及び社会での活動

氏 名	事 項	就 任 年
村山ヒサエ	第24回新潟母性衛生学会学術集会座長（一般演題）	1997
杉田 収	日本電気泳動学会評議員	1975～
	日本自動化学会評議員	1975～
	生物試料分析学会評議員	1991～
	日本臨床病理学会評議員	1991～
	日本臨床化学会評議員	1992～
	日本臨床病理学会臨床化学専門部会世話人	1993～
	日本臨床化学会甲信越支部長	1997～
	第28回日本臨床化学会新潟分科会例会長	1997
中野正春	新潟地域留学生等交流推進会議運営委員会委員	1996～
佐々木美佐子	上越在宅ケア研究会幹事	1996～
	上越保健所地域関係職員研修特別講演座長	1997

山本誠一	新潟県臨床心理士会学校心理臨床委員会委員	1996～
	新潟県カウンセラー学校派遣事業 派遣カウンセラー	1996～
	文部省スクールカウンセラー活用調査研究委託事業スクールカウンセラー	1997～
小林ミチ子	社団法人新潟県看護協会上越地区協会看護婦職能委員・教育委員	1995～
	戦略技術研究会分科会福祉医療機及びヘルスサポート分野分科会委員	1997
中村博生	関東甲信越英語教育学会理事	1990～
小林美代子	社団法人新潟県看護協会助産婦職能理事	1996～
小林恵子	社団法人新潟県看護協会学会委員	1997～
平澤則子	社団法人日本看護協会先駆的保健活動交流推進事業 海外調査研究小委員会委員	1996～
渡邊典子	思春期電話相談員	1990～
	エイズ電話相談員	1994～
	思春期電話相談委員	1996～

(5) 科学研究費による研究

研究種目	研究課題名	本学研究者名	研究代表者所属	期間
文部省、基盤研究(C)(2)	抗酸化能の新測定法とその臨床応用に関する研究	杉田 収	新潟県立看護短期大学	1997-1998

(6) 教員海外研修

氏名	研修テーマ	研修地名	期間
加藤光寶	Beth Israel Deaconess Medical Center における看護管理	米国 (ボストン)	1997.9.21-9.26
田中キミ子	5 th International Self-Care Deficit Nursing Theory Conference (第5回国際セルフケア看護理論学会)	ベルギー (レーベン)	1997.8.7-8.15

関谷伸一	第5回国際脊椎動物形態学会参加	英国（ブリストール）	1997.7.11-7.23
水口陽子	デンマークの高齢者・障害者福祉施設視察研修	デンマーク（コペンハーゲン・ロスキレ）	1997.8.17-8.24
渡辺弘之	Intermarriage in Cultural Contexts (National University In Hochiminh City, College Of Social Sciences and Humanities) Hochiminh, Vietnam	ベトナム（ホーチミンシティ）	1997.7.22-8.15
渡辺弘之	Buddhism under the Pol Pot Regime (National University of Phnom Penh) Phnom Penh, Cambodia	カンボジア（プノンペン）	1997.8.20-8.30
渡辺弘之	Social Economics and Poverty (National Center of Social Sciences and Human Studies)Hanoi, Vietnam	ベトナム（ハノイ）	1997.9.1-9.15

(7) 共同研究

(本学教員は下線表示)

題 名	研究者名	* 所 属	研究開始年	期 間
少産時代における里帰り分娩の実態とその変容	<u>村山ヒサエ</u> <u>村山陵子</u> <u>渡邊典子</u> <u>小林美代子</u> *1 駒形ユキ子 *2 小林二二枝 *3 高橋幸子	1.新潟県立中央病院 2.県立ガンセンター新潟病院 3.開業助産婦	1997	1年
化学発光法による飲料水中の活性酸素様物質の測定	<u>杉田 収</u> <u>中野正春</u> <u>関谷伸一</u> *1 佐藤一範 *2 岡田正彦	1.新潟県立がんセンター 2.新大医検査診断学	1995	3年

末梢神経における神経束叢の3次元立体構築	<u>関谷伸一</u> *1 <u>熊木克治</u> *2 <u>関谷政雄</u> <u>中野正春</u>	1.新大医解剖学第1講座 2.新潟県立中央病院病理検査科	1995	3年
高齢者のSexualityに関する研究	<u>水戸美津子</u> <u>秋山啓子</u> <u>島村澄江</u> <u>渡邊典子</u> <u>西脇洋子</u>		1996	2年
在宅ケアを支える住まい環境	<u>水戸美津子</u> <u>杉田収</u> <u>関谷伸一</u> <u>西脇洋子</u> <u>山際和子</u>		1996	2年
リウマチ疾患患者・家族の不安と入院日数の関係	* <u>渋谷正子</u> * <u>鈴木ヒロ子</u> * <u>佐藤孝子</u> * <u>中園清</u> <u>小林ミチ子</u> <u>加藤光寶</u> ほか	新潟県立瀬波病院看護部	1997	1年
循環器疾患患者の検査及び治療に関連した不安への援助—心臓カテーテルを受ける患者の不安の分析とオリエンテーションの検討—	<u>金子史代</u> <u>小野沢康子</u> <u>山田洋子</u> <u>島村澄江</u> <u>山際和子</u>		1997	2年
日本社会における異文化状況の比較研究	*1 <u>松井清</u> <u>渡辺弘之</u> *2 <u>嘉本伊都子</u> *3 <u>長岡まり</u> <u>音喜多かおる</u>	1.明治学院大学社会学部 2.国際日本文化研究センター 3.HEDS JICA (Indonesia)	1992	継続中

10 教員の研究・研修活動（追加）

（2）その他報告・随想など

（本学教員は下線表示）

題 名	氏 名	掲 載 雑 誌 名 ・ そ の 他	年
「高齢者の性」に関する看護・介護職者の意識調査研究	<u>水戸美津子</u> <u>秋山啓子</u> <u>島村澄江</u> <u>渡邊典子</u> <u>西脇洋子</u>	平成8、9年度新潟県立看護短期大学共同研究費研究成果報告書	1998
介護するのは誰？	<u>水戸美津子</u>	第4期上越市女性大学学習記録, 62-72	1997

（3）講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
臨床における看護研究のすすめ方	水戸美津子	篠ノ井病院看護部研修会	1997.5.23	長野市
医療の基礎知識、心理面への援助方法	水戸美津子	老人介護講習会	1997.8.27	上越市
高齢化社会に向けて 一介護するのは誰？一	水戸美津子	新潟県理容環境衛生同業組合高田支部 上越地区女性の集い	1997.9.29	上越市
老年期看護概論	水戸美津子	国立犀潟病院平成9年度老人性痴呆疾患対策研修	1997.10.14	上越市
実習指導の実際（老人看護学）	水戸美津子	新潟県福祉保健部実習指導者養成講習会	1997.10.17	新潟市
臨床看護研究における文献の活用	水戸美津子	篠ノ井病院看護部研修会	1997.10.31	長野市
研究のまとめ方、発表の仕方	水戸美津子	篠ノ井病院看護部研修会	1997.12.19	長野市
臨床における看護研究	水戸美津子	頸南病院看護部研修会	1998.3.6	新井市

（4）学会及び社会での活動

氏 名	事 項	就 任 年
水戸美津子	関東教育学会幹事 上越市女性政策推進委員 上越市美しいまちづくり環境アドバイザー 安塚町福祉施設整備検討委員会委員 介護認定審査会副委員長	1996～ 1997～ 1997～ 1998～ 1998～

11 大学の公開

(1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座の2講座を実施した。

① 専門公開講座

- ・テーマ 「看護研究の基礎」

基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。

- ・受講者 40人

- ・日程及び内容

日	時間	内容	講師
第1日 7/15 (火)	9:00~ 9:30 9:30~10:30 10:40 12:00 13:00~16:00	開講式オリエンテーション 講義「臨床看護研究」 講義「看護研究の方法」 演習「コンピュータ操作の基礎」 演習「統計学パッケージ HALBAUについて」	教授 加藤光寶 教授 佐々木美佐子 嘱託員 関根加代子 教授 小野沢康子
第2日 7/16 (水)	9:00~12:00 13:00~16:00	〈グループワーク〉 演習「調査データの統計処理」 演習「調査データの解析・作図 ・作表」	8グループ編成 1 加藤教授、水口講師 武田助手 2 村山教授、島村講師 山田(正)助手 3 小野沢教授、矢坂講師 渡辺(繁)助手 4 田中教授、小林(恵)講師 宮越助手 5 川崎教授、平澤講師 石沢助手
第3日 7/18 (金)	9:00~12:00 13:00~14:00 14:00~15:30 15:45 16:00	〈グループワーク〉 演習「調査データの考察」 演習「グループワークのまとめ」 グループワークの報告と討論 閉講式	6 佐々木教授、小林(美)講師 大久保助手 7 長野助教授、村山講師 西脇助手 8 水戸助教授、渡辺(典)講師 井口助手 演習補助員：井上助手 山際助手 古川助手

② 一般公開講座

《第9回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア新潟'97」協賛事業》

- ・テーマ 『人のからだ不思議』
- ・講演 教授 関谷 伸一
- ・受講者 100人
- ・日程 平成9年11月22日(土)
- ・会場 新潟県立看護短期大学 第1合同講義室

12 学生自治会 《平成6年5月30日設立》

(1) 大学祭『桜桃祭』開催

- ・日時：平成9年11月22日(土)
- ・来校者：約700人
- ・テーマ：「食事・健康チェック」、「小児看護実習の状況公開」、
「ボランティアサークル活動内容発表」、「成人看護学実習の状況公開」
「ミネラルウォーターと水道水の抗酸化能……水研究会」
「バーチャルプレグナンシー ～赤ちゃんを生もう～」など
- ・一般公開講座：「人のからだ不思議」
- ・お笑いライブ「よゐこ」

(2) サークル活動

サークル名	サークル名	サークル名
バトミントン	ソフトテニス	ソフトボール
硬式テニス	バレーボール	N C - N E T
水研究会	快適住まい環境研究会	ボランティア
ミステリーMK2	E・T	合唱サークル

資 料

主要行事日誌

4月1日(火)	辞令交付…教員4名採用、教員4名転任、事務職員5名転任
3日(木)	在学生ガイダンス、学生健康診断
4日(金)	第4回入学式
7日(月)	前期授業開始、入学生健康診断
8日(火)～9日(水)	入学生ガイダンス…学内及び国立妙高少年自然の家で実施
23日(水)	全国公立短期大学協会医療看護系協議会事務局長部会 ……田中総務課長出席
5月7日(水)	定期監査(書記)
5月8日(木)	開学記念日
12日(月)	第3回戴帽式
13日(水)～14日(水)	全国公立短期大学協会関東ブロック会議 …川越市で開催、斎藤学長、新保副参事出席
27日(火)～28日(水)	全国公立短期大学協会第47回通常総会 …金沢市で開催 斎藤学長、大関事務局長出席
7月3日(木)	大学説明会……県内の高校50校参加
3日(木)	全国公立短期大学協会関東ブロック担当者会議
8日(火)	全国公立短期大学協会事務職員中央研修会議
11日(木)	夏季休業
～8月31日(土)	
14日(月)～15日(火)	第25回全国公立短期大学協会医療看護系協議会 …京都市で開催 斎藤学長、加藤学科長、小野沢教授出席
15日(火)～16日(水)	専門公開講座
18日(金)	//
16日(水)	定期監査(委員)
17日(木)～18日(金)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
8月28日(木)～29日(金)	全国公立短期大学協会事務局長会議・幹部研修会…大関事務局長
9月17日(水)～29日(月)	前期試験
9月29日(月)～30日(火)	1年生解剖見学…新潟大学医学部で人体解剖見学
30日(火)	年報第3号発行
10月1日(水)	後期授業開始
7日(火)	消防計画に基づく総合訓練実施

14日(火)	全国公立短期大学協会平成9年度第2回学長会 …国立教育会館で開催 齋藤学長出席
24日(金)	新潟県立短期大学学長・事務局長会議…県立新潟女子短期大学
11月 4日(火)～10日(月)	専攻科推薦入試願書受付…応募者72人
7日(金)	第4回大学運営懇談会
17日(月)～21日(金)	看護学科推薦入試願書受付…応募者85人
20日(木)～21日(金)	全国公立短期大学協会事務局長会議…田中総務課長出席
22日(土)	大学祭、一般公開講座
30日(日)	専攻科推薦入試日……………受験者71人
12月 1日(月)	紀要第3巻発行
4日(木)	学長選挙候補者名簿公示・選挙資格者名簿閲覧
5日(金)	専攻科推薦入試合格発表…合格者29人
8日(月)	学長選挙不在者投票日
14日(日)	看護学科推薦入試日……………受験者84人
15日(月)	学長選挙投票日
17日(水)～24日(水)	専攻科一般入試願書受付…応募者186人
19日(金)	看護学科推薦入試合格発表…合格者30人
21日(日)	冬季休業
～1月10日(土)	
1月19日(月)～23日(金)	看護学科一般入試願書受付…応募者348人
25日(日)	専攻科一般入試日……………受験者160人
30日(金)	専攻科一般入試合格発表…合格者32人
2月 5日(木)	公立大学・公立短期大学及び公立高等専門学校事務局長等会議
9日(月)～19日(木)	後期試験
20日(金)～21日(土)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
22日(日)	看護婦国家試験
23日(月)	保健婦国家試験
24日(火)	助産婦国家試験
24日(火)	看護学科一般入試日……………受験者266人
3月 5日(木)	看護学科一般入試合格発表…合格者79人
11日(水)	出納局会計実施検査
13日(金)	卒業式・修了式
21日(土)～31日(月)	春季休業

教授会・委員会の活動

(1) 教授会の活動

- 第1回 (9.4.7) ・平成9年度主要推進事項について
・学生の退学について
・専攻科設置準備プロジェクトチーム設置要綱の廃止について
- 第2回 (9.5.12) ・平成9年度主要推進事項について
・平成9年度研究費・教材費の配分案について
・衛生委員会設置案について
・専攻科の学外実習配置表について
・奨学生の選考について
・図書館利用規程の一部改正案について
・学生の休学・退学について
- 第3回 (9.6.2) ・平成9年度一般公開講座について
・平成10年度学生募集要項について
・大学説明会の日程について
・新入生の学外ガイダンスのアンケート調査について
- 第4回 (9.7.7) ・学生の休学について
・図書取扱いの申し合わせ事項について
- 第5回 (9.9.1) ・教員審査委員会の設置について
・前期試験の時間割りにについて
- 第6回 (9.10.6) ・学長選挙管理委員会の設置について
・教員審査委員会(採用)の設置について
・図書取り扱いの申し合わせ事項(案)について
・上越市主催の「健康まるごとフェスタ'97」の共催について
・進路指導プロジェクトチームについて
- 第7回 (9.11.10) ・学長選挙管理委員会委員の選出について
・平成10年度学年歴について
- 第8回 (9.11.17) ・報告事項
- 第9回 (9.12.1) ・教員審査委員会(昇任)の設置について
・新潟県立看護短期大学自己点検・評価委員会規程制定及び委員会の設置について
- 第10回 (9.12.4) ・平成10年度専攻科推薦入学者選考試験合格者の決定について
- 第11回 (9.12.15) ・報告事項
- 第12回 (9.12.18) ・学長候補者の決定について
・平成10年度看護学科推薦入学者選考試験合格者の決定について

- ・教員審査委員会（採用）の設置について
- ・新潟労災病院主催の記念講演会の後援について
- 第13回（10. 1.12） ・平成10年度ガイダンス並びに健康診断について
- 第14回（10. 1.29） ・平成10年度専攻科一般入学者選考試験合格者の決定について
- 第15回（10. 2. 2） ・報告事項
- 第16回（10. 3. 2） ・平成10年度授業時間割について
- ・平成10年度学年暦の一部変更について
- ・学生の保健管理について
- 第17回（10. 3. 4） ・平成10年度看護学科一般入試合格者の決定について
- ・卒業・修了判定について
- 第18回（10. 3.18） ・進級判定について
- ・平成10年度各委員会・クラスディレクターの構成について

(2) 各委員会の活動

① 企画委員会

- 第1回（9. 4.14） ・平成9年度教員研究費・教材費の配分について
- ・平成9年度主要推進事項について
- ・第9回全国生涯学習フェスティバルについて
- ・学内ネットワーク等構築事業の内容について
- ・衛生委員会設置について
- ・大学条例の一部改正について
- 第2回（9. 5.19） ・大学条例の一部改正について（継続）
- ・授業料減免に関する事務取扱要綱の一部改正について
- ・第9回全国生涯学習フェスティバルについて
- ・自己点検評価委員会について
- ・教員研究員海外派遣について
- 第3回（9. 6. 9） ・大学条例の一部改正について（継続）
- ・コンピュータ部会活動予定と報告について
- ・学内ネットワークシステムについて
- ・自己点検評価委員会について
- 第4回（9. 8.25） ・自己点検評価委員会について（継続）
- ・コンピュータ部会の状況報告
- ・専門公開講座の実施結果について
- ・来年度の予算要求について
- 第5回（9. 9. 8） ・一般公開講座について

- ・予算要望について
- ・自己点検評価委員会について（継続）
- 第6回（9.10.13）
 - ・看護短大ホームページについて
 - ・コンピュータのアンケート結果について
 - ・平成10年度教育用備品の要求希望状況について
 - ・平成10年度共同研究費要求希望状況について
 - ・自己点検評価委員会について
- 第7回（9.11.17）
 - ・看護短大ホームページについて
 - ・平成10年度予算要求状況について
 - ・平成9年度予算執行について
 - ・自己点検評価委員会について
- 第8回（9.12.8）
 - ・自己点検評価委員会委員選出について
 - ・教材費（保留分）の配分について
 - ・平成10年度予算要求状況について
 - ・看護短大ホームページについて
 - ・大学祭におけるフリーマーケットの取扱いについて
- 第9回（10.1.19）
 - ・卒業式・修了式について
 - ・教材費（保留分）の配分について
- 第10回（10.2.9）
 - ・平成10年度の各委員会構成・クラスディレクターについて
 - ・卒業式・修了式の日程等について
 - ・コンピュータ関連機器の購入に伴う支払い方法について
 - ・コンピュータのトラブル状況について
- 第11回（10.3.9）
 - ・平成10年度の各委員会構成・クラスディレクターについて
 - ・インターネット利用規程等について
 - ・看護短大ホームページの更新について
 - ・コンピュータの講習会予定について

② 教務委員会

- 第1回（9.4.4）
 - ・委員長、副委員長選出、役割分担について
 - ・定例委員会と書記順について
- 第2回（9.4.23）
 - ・業務内容検討
 - ・非常勤講師について
 - ・選択科目の履修届出状況について
 - ・専攻科学外実習配置表について
 - ・解剖見学日程について
- 第3回（9.5.19）
 - ・委員会年間予定表について

- 第4回 (9. 6.16)
 - ・業務内容検討
 - ・委員会年間予定表の一部変更について
 - ・学科2年生後期実習オリエンテーションについて
 - ・前記試験科目数の検討について
- 第5回 (9. 7.28)
 - ・前期定期試験時間割の検討
 - ・学科2年生後期看護学実習配置表について
 - ・各看護学実習要項の作成について
- 第6回 (9. 9.11)
 - ・臨床実習における委員会の役割確認
 - ・後期実習オリエンテーションの実施について
- 第7回 (9.10.20)
 - ・平成10年度学年暦の検討
 - ・前期試験結果について
 - ・非常勤講師の変更について
 - ・定期試験受験資格について
 - ・平成10年度時間割希望調査依頼について
- 第8回 (9.11.17)
 - ・カリキュラムの見直しについて
 - ・平成10年度時間割について
 - ・平成10年度学生便覧について
 - ・前期試験結果について
- 第9回 (9.12. 9)
 - ・前期試験結果について
 - ・平成10年度臨床実習について
- 第10回 (10. 1.20)
 - ・平成10年度時間割、実習配置表について
 - ・冬期保健体育集中授業について
 - ・最終講義について
 - ・後期試験日程について
 - ・平成10年度学生便覧について
 - ・教科書販売業者について
- 第11回 (10. 2.24)
 - ・卒業、修了判定について
 - ・平成10年度時間割について
 - ・平成10年度学年暦の一部変更について
 - ・最終講義について
 - ・非常勤講師の変更について
 - ・平成10年度学生便覧について
- 第12回 (10. 2.26)
 - ・卒業、修了判定について(継続)
 - ・平成10年度学年暦の一部変更について
- 第13回 (10. 3.16)
 - ・看護学科進級判定について
 - ・平成10年度学年暦について

③ 学生委員会

- 第1回 (9. 4. 2) ・委員長、副委員長の選出および委員会の開催日程について
・新入生ガイダンスについて
- 第2回 (9. 4. 4) ・新入生ガイダンスについて (継続)
- 第3回 (9. 4.28) ・平成9年度の保健室の管理について
・奨学金の手続きについて
・平成9年度ガイダンスの総括
・サークル活動について
・戴帽式に伴う祝賀会について
- 第4回 (9. 5. 9) ・平成9年度の奨学生選考について
- 第5回 (9. 5.26) ・平成9年度ガイダンス総括 (アンケート調査)
・学生の健康診断の結果概要について
・奨学金の手続きの最終結果について
・授業料減免申請状況について
・サークル活動について
- 第6回 (9. 6.23) ・学外ガイダンス、アンケート集計結果について
・夏季休業中の生活指導について
・食堂委員会の運営について
・学生の施設利用状況について
- 第7回 (9. 9.24) ・平成9年度「大学祭」の計画概要について
・学外実習に伴う感染事故等の対策について
・食堂委員会の開催について
- 第8回 (9.10.27) ・平成9年度「大学祭」の対応について
・食堂アンケート集計結果について
・保健室の管理について
- 第9回 (9.11.28) ・「大学祭」の総括について
・奨学金、後期授業料減免等について
・平成10年度ガイダンスについて
・学外実習に伴う感染事故等の対策について
- 第10回 (9.12.22) ・平成10年度ガイダンスについて
- 第11回 (10. 1.26) ・平成10年度ガイダンスについて (継続)
・保健室の利用状況総括について
- 第12回 (10. 2.17) ・平成10年度学外ガイダンス実施詳細について
・学外実習に伴う感染事故等の対策について
- 第13回 (10. 3.23) ・平成10年度ガイダンスについて
・保健室の利用状況について

・委員会の年間議事総括

④ 入試委員会

- 第1回 (9. 4. 4) ・委員長、副委員長選出
・平成9年度実施及び検討事項について
- 第2回 (9. 4.21) ・年間スケジュールについて
・役割分担について
- 第3回 (9. 5.19) ・大学説明会について
・試験日程について
・募集要項について
・学校案内パンフレットについて
・入試実施委員会の開催について
- 第4回 (9. 5.26) ・大学説明会について
・募集要項の検討
- 第5回 (9. 6. 5) ・入試実施方針について
・入試関係スケジュールについて
- 第6回 (9. 6.16) ・大学説明会の役割分担について
・大学案内パンフレットについて
- 第7回 (9. 7. 3) ・大学説明会実施
- 第8回 (9. 9. 8) ・大学説明会の復命
・高校生の大学見学状況
・ホームページへの入試状況登載について
- 第9回 (9.10.20) ・専攻科推薦入学者選考試験実施要領について
・試験当日の臨時バスについて
- 第10回 (9.11.12) ・看護学科推薦入学者選考試験実施要領について
・入学者選考試験実施委員会
・専攻科推薦入試全体説明会日程について
・試験当日の臨時バスについて
- 第11回 (9.11.30) ・専攻科推薦入試実施
- 第12回 (9.12.10) ・専攻科一般入学者選考試験実施要領について
・今後のスケジュールについて
- 第13回 (9.12.14) ・看護学科推薦入試実施
- 第14回 (10. 1.14) ・看護学科一般入学者選考試験実施要領について
・看護学科一般入試問題部数決定について
・試験当日の臨時バスについて
- 第15回 (10. 1.25) ・専攻科一般入試実施

- 第16回 (10. 2.16)
 - ・試験当日の臨時バス利用予定状況について
 - ・今後のスケジュールについて
- 第17回 (10. 2.24)
 - ・看護学科一般入試実施
- 第18回 (10. 3.16)
 - ・入学者手続き状況について
 - ・入試委員会総括

⑤ 図書委員会

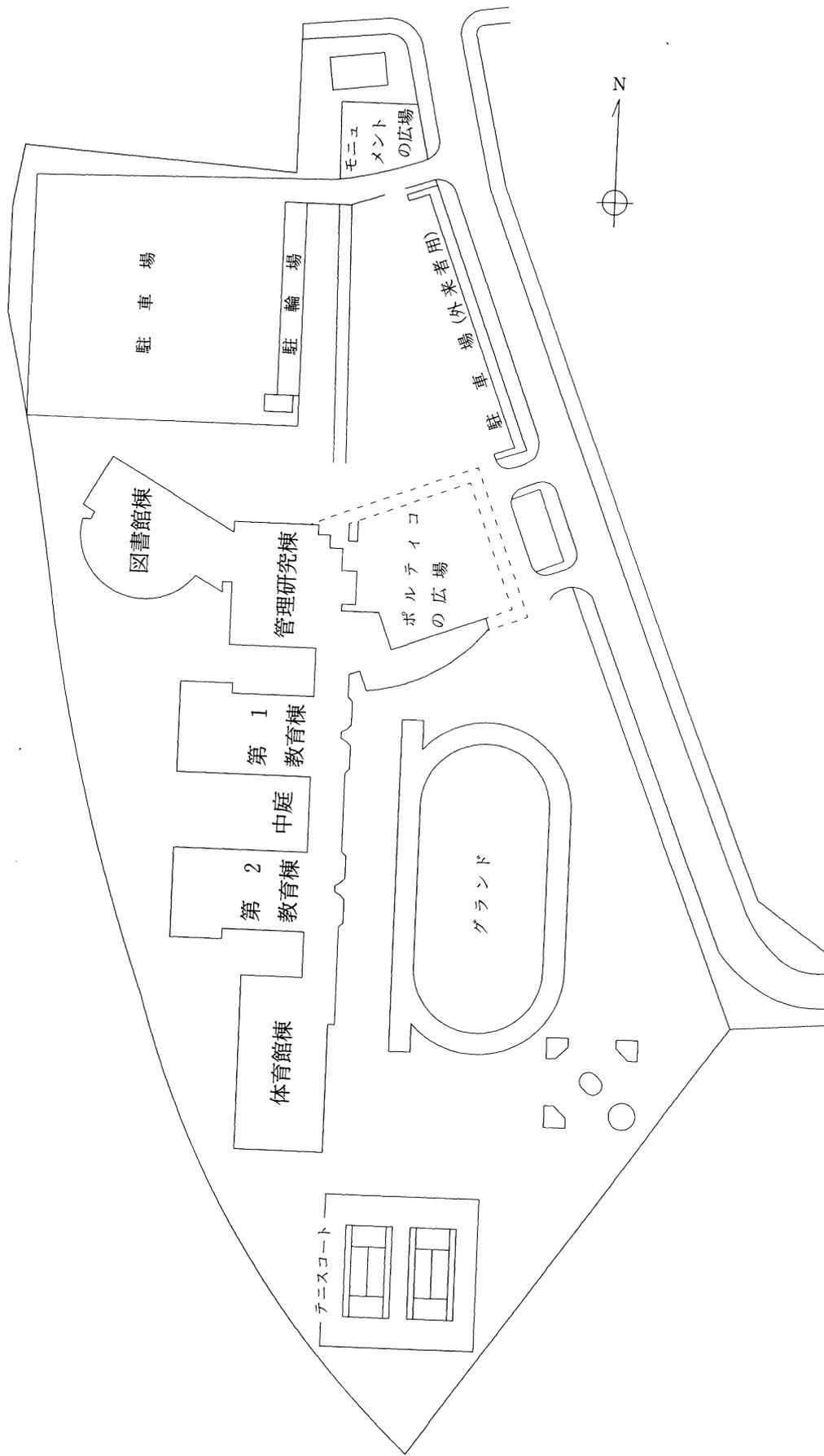
- 第1回 (9. 4. 4)
 - ・委員長、副委員長の選出および委員会の開催日程について
 - ・教員用アンケートについて
- 第2回 (9. 4.21)
 - ・公衆衛生看護学校寄贈図書の処理について
 - ・頻繁に使用する図書等（ビデオ）の取扱について
 - ・教材費で購入した図書の取扱について
 - ・本年度選書について（定期、臨時）
 - ・図書館の充実について
 - ・本年度の雑誌購入について
 - ・教員の要望について
- 第3回 (9. 5.19)
 - ・備品購入費の計画について
 - ・本年度選書の実施計画について（定期）
 - ・本年度雑誌継続と来年度雑誌購入について
 - ・公衆衛生看護学校図書の整理について
 - ・研究費で購入した雑誌の登録について
- 第4回 (9. 6.16)
 - ・来年度の雑誌購入について
 - ・備品購入について
 - ・図書内規について
 - ・廃棄図書の選別について
 - ・夏季休業中のアルバイト募集について
- 第5回 (9. 7. 7)
 - ・本年度定期選書について
 - ・備品購入について
- 第6回 (9. 9.22)
 - ・図書取扱申し合わせ事項について
 - ・図書館インターネットについて
 - ・平成11年度図書管理システム関係について
 - ・平成9年度図書館利用者の延滞について
 - ・蔵書点検の結果について
 - ・公衆衛生看護学校図書の処理について
- 第7回 (9.10.20)
 - ・定例選書について
 - ・図書館予算要求について

- 第8回 (9.11.17)
 - ・本年度計画実施状況と来年度計画の立案
 - ・図書を選書について
- 第9回 (9.12.10)
 - ・公衆衛生看護学校図書の処理について
 - ・平成10年度計画の立案(定期雑誌)
 - ・ビデオ貸し出し等について
 - ・公衆衛生看護学校図書の処理報告
 - ・購入雑誌の変更について
 - ・年末の図書館休館日について
- 第10回 (10.1.19)
 - ・図書を選書について
 - ・図書館だよりについて
 - ・アンケート集計等について
- 第11回 (10.2.16)
 - ・図書館だよりについて
 - ・来年度引継ぎ事項について
- 第12回 (10.3.16)
 - ・来年度引継ぎ事項について
 - ・決算について
 - ・図書館だよりについて

⑥ 紀要委員会

- 第1回 (9.4.4)
 - ・委員長、副委員長の選出および役割分担について
 - ・定例委員会と書記順の決定
- 第2回 (9.4.28)
 - ・紀要、年報作成について(問題点とスケジュール)
- 第3回 (9.5.26)
 - ・紀要、年報作成について
- 第4回 (9.6.23)
 - ・紀要、年報作成について(進捗状況報告)
- 第5回 (9.7.9)
 - ・紀要原稿提出状況と査読者の決定
- 第6回 (9.7.30)
 - ・紀要第1次結果
 - ・年報刊行時期について
- 第7回 (9.8.25)
 - ・紀要記載順決定
 - ・年報今後のスケジュール確認
- 第8回 (9.9.9)
 - ・紀要再査読結果と予算について
- 第9回 (9.9.30)
 - ・紀要最終原稿点検と印刷部数決定
- 第10回 (9.10.27)
 - ・紀要発行の経過と紀要執筆要項の変更協議
- 第11回 (10.1.26)
 - ・次年度への申し送り事項について
- 第12回 (9.2.13)
 - ・次年度への申し送り事項検討
- 第13回 (9.3.10)
 - ・次年度への申し送り事項検討

校舎配置図





新潟県立看護短期大学校歌

作詞 杉 みき子

作曲 後藤 丹

一 朝日にかがやく 妙高山が

生きてるよろこび 教えてくれた

風よ 並木よ みどりの広場

友と語れば 白衣の胸に

虹がうまれる われらの母校

二 この手のぬくもり もとめる人に

癒しと看とりの 思いをこめて

かかげるともしび 世界を照らす

その灯をうけつぐ 白衣の胸に

あふれる愛こそ われらの誇り

三 ゆたかないのちを はぐくみながら

流れる関川 花咲く大地

歌よ こだまよ 羽ばたく鳥よ

あしたを抱いてる 白衣の胸に

かがやけ青春 われらの母校